

モデル名


株式会社 野田ハッピー
 本社 〒153-0064
 東京都目黒区下目黒2-14-13
 HAPPY BLDG.
 電話 03-6633-6666
 FAX 03-6421-7337
 工場 〒278-0026
 千葉県野田市花井140-4
 電話 04-7121-2211
 FAX 04-7121-2216

保証期間中、取扱説明書や注意事項等に従った正常な使用状態で故障や不具合が発生した場合、無償修理いたします。修理後の保証期間は、保証書に記載されている期間と同じとなります。

保証期間内であっても、以下の事象による故障や損傷は有償修理となります。

(1) 納品後の輸送・移動・落下・振動による損傷・故障

- (2) 火災・地震・風水害・雷などの天災、公害、異常電圧、塩害・虫害・硫化ガス等による
損傷・故障
- (3) 誤った使用、不当な改造、特殊な環境下での使用による損傷・故障
- (4) 消耗品の交換や劣化による損傷・故障
- (5) 点検・メンテナンスの不足や不適切な周期での実施による損傷・故障
- (6) 本製品以外（外部要因）が原因の不具合
- (7) 使用損耗または経年劣化による損傷・故障

- ・本製品を長期間安全に使用するために、適切な使用方法と定期的なメンテナンスを実施してください。
- ・焼き網や水槽、バーナーなど日常のお手入れをせず使用すると、燃焼異常や故障、火災の原因になりますので、定期的な確認と洗浄をお願いします。
- ・製品の故障による直接的・間接的な損害については補償いたしません。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is voided only in Japan.

焼き網、光熱板、受台、バーナー、ノズル、ゴム配管、パイロット

NC-22 型
NH-11 型



このたびは、無煙ロースターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくため、ご使用になるかたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示の意味

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意



高温注意



火災注意



感電注意



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



アース接続



必ず行う

長期間使用しない場合

- 使用を停止する手順
1. ガス元栓を確実に閉めてから、ガス用ゴム管をはずしてください。
 2. 電源プラグをコンセントからはずしてください。または、配電盤のブレーカを切ってください。
 3. 各部の汚れを清掃します。（日常の点検とお手入れ参照）
長期間汚れが付着した状態にしておくと、取り除くのが困難になり故障の原因になる場合があります。

- 再使用する場合は手順
1. ガス用ゴム管を点検し、ガス元栓に接続します。
 2. 電源プラグをコンセントにさします。または、配電盤のブレーカを入れます。
 3. 「ご使用前の準備と確認」の項目を実施したうえでお使いください。

仕様

製品名/型番	無煙ロースター NC-22 型 / NH-11 型	
使用ガス	都市ガス 13A	LP ガス
ガス消費量	2450kcal/h	0.16kg/h
ガス接続口	Φ9.5mm ガス用ゴム管口	
点火方式	連続着火方式	
電源/消費電力	AC100V 50Hz/60Hz	5W
電源コード	平形プラグ（2pin）	長さ約 2m
焼き寸法	Φ270mm	
天板穴開寸法	Φ365mm	
加熱方式	火山石（NC-22）、光熱板（NH-11）	
ガス器具寸法	W200mm×H120mm×D430mm（つまみ部分含む）	
ユニット寸法	Φ380mm×H380mm	
キャビネット寸法	W730mm×D360mm×H690mm	
排煙方式	単独または複数集中式によるダクト強制排気方式	
配管径	Φ125mm	
排煙量	380m3/hr～400m3/hr	
吐出温度	店内温度＋18℃	
ユニット静圧	250pa	
材質	ステンレス（本体）	
油除去率	ジェミスターフィルター 88%	
付属品	鋳物焼網、火山石・火山石受（NC-22）、光熱板（NH-11）、 防火ダンパー（ヒューズ付）コンロホルダー（5 台で 1 個）、 網ホルダー（3 台で 1 個）、取扱説明書	

簡単な故障の見分け方と処置方法

症状	原因	対処方法
点火しない	ガスの元栓の開き忘れ	ガスの元栓を全開にしてください
	LP ガスがなくなりかけている	新しいボンベと交換してください
	点火パイロットの汚れや水ぬれ	汚れを掃除して取り除く 水ぬれを拭き取って十分乾燥してください
	電源プラグの差し忘れや抜け	コンセントに電源プラグが正しく挿入されているか 点検を実施してください
点火しにくい	ガスの元栓の開きが不十分	ガスの元栓を全開にしてください
	バーナーの汚れや水ぬれ	汚れを掃除して取り除く 水ぬれを拭き取って十分乾燥してください
	ガスの配管部分に空気が残っている	点火操作を繰り返してください
	エアコンの風が直接当たる	風の向きを直接当たらないように 調節してください
	ガス用ゴム管の折れや曲がりやつぶれ	ガス用ゴム管の折れ曲がり、 つぶれを直してください
炎が黄色い	バーナーの炎孔が詰まっている	炎孔を掃除してください
	空気量が少ない	空気調節器を調節してください 室内の換気をしてください
煙を吸い込まない	ダクトファンが動作していない	ダクトファンの運転スイッチを確認してください
煙の吸い込みが悪い	防火ダンパーの温度ヒューズが切れている	予備の温度ヒューズを取り付けてください
	デミスタフィルターの目詰まり	洗浄してください
	器具内部の油の付着・堆積	器具内部を清掃してください
	器具内部の部品取付不良	各部の構造通りに正しく取り付けてください
	エアコン等の外部からの風が直接当たる	風向きを直接当たらないように調節してください
	ダクトファンの異常	ダクトファンの点検をしてください

こんな場合は故障ではありません。

- 朝一番など、長時間ガス元栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。
器具配管内の空気が抜け、バーナーにガスが来るまで数回、点火を繰り返してください。

- 不具合が改善されない時やご不明な点等ございましたら、お買い上げの販売店または当社にご連絡をおねがいします。不完全な処置や放置は故障や事故の原因になります。



火災注意



禁止



感電注意



アース接続

危険

●ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気付いた場合は、以下の(1)～(3)の処置が完了するまで、絶対に火気を使用しないでください。また、周辺の電気器具(換気扇その他)のスイッチ操作や電気プラグの抜き差し、電話の使用も行わないでください。

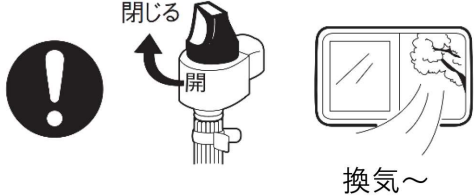
ガスコンロなど、その他の火気使用器具も使用しないでください。

炎や火花で引火し、爆発事故につながるおそれがあります。

(1)すぐに使用をやめ、器具栓とガス元栓を閉じる

(2)窓や戸を開けガスを外へ出す

(3)当社またはガス事業者に連絡してください



換気～

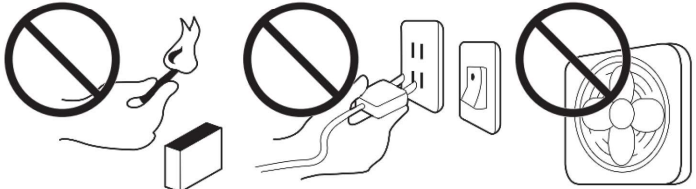
禁止事項

火気使用

スイッチの操作

電気プラグの抜き差し

電気製品の使用



●本製品は感電の危険があります。必ず接地(アース)接続を行ってください。

アース付き付コンセントをご利用ください。

＊アース付きコンセントが無い場合は、
D種接地工事を実施し、必ず接地(アース)接続を行ってください。



警告



禁止

●使用するガス・ガス種グループ(都市ガス)の確認

ガス器具に表示してあるガス・ガス種グループと使用するガスが合っているか確認してください。もしわからないときは、販売店またはガス事業者にお尋ねください。

表示してあるガス・ガス種グループ以外のガスは絶対に使用しないでください。

不完全燃焼や器具の故障となります。

＊器具に表示されているガスの種類を確かめてください。(都市ガスの例)

NC-22 型
都市ガス用
13A 2. 85kW (2450kcal/h)
12A 2. 51kW (2160kcal/h)

(株) 野田ハッピー

3



警告



禁止

●火災予防

機器の上や周囲には、可燃性の物(衣類や布製品、新聞紙、紙袋など)や引火性の物(エアゾール缶など)は置かないでください。

また、カーテンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。

火災の原因となります。



●異常時の処置

異常燃焼を起こした時や、器具の異常を感じた場合は、あわてず器具栓つまみを「止」の位置に戻して、ガスの元栓を閉めてください。

お近くの販売店またはガス事業者へ速やかに連絡してください。



禁止

●禁止事項

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを機器の近くで使用しないでください。また、機器の周囲にスプレー缶を置かないでください。

熱によりスプレー缶内部の圧力が上昇し、爆発する恐れがあります。



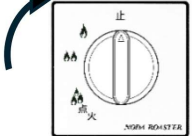
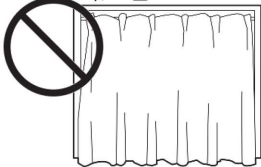
感電注意

●清掃や点検時

本製品内部には高電圧が発生する部位があります。清掃や点検を行う際は、必ず電源を切ってから作業を開始してください。感電の危険があります。

本製品を分解しないでください。故障や感電、けがの原因となります。







注意



高温注意

●点検や清掃時の注意

本製品の点検や清掃を行う際は、必ず温度が十分に下がってから作業してください。

高温部に触れると火傷の原因となります。



接触禁止

●使用中・使用直後の注意

使用中および使用直後は、操作部以外の部分に手を触れないでください。器体とその部品が高温になっています。器体の部品を取り外すときは、完全に冷えてから作業してください。



●点火操作の注意

点火操作を行う際は、バーナー付近に顔を近づけすぎないように注意してください。

炎や熱により顔を火傷する恐れがあります。

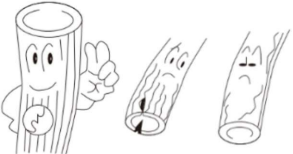


火災注意

●ガス事故防止

○必ず JIS マーク表示のあるガス用ゴム管を使用してください。

ビニール管は弾力性がなく、熱に弱いので大変危険ですので、絶対に使用しないでください。



- ◆ 最終確認と燃焼試験
 - ・電源を入れ、ガス栓を開いた後、ガス漏れがないかを確認してください。
 - ・ロースターの部品が正しくセットされていること、バーナー部に異常や汚れがないことを確認してください。
 - ・最後に、燃焼の状態を確認してください。(点火や炎の安定など)

お手入れ

機能の維持と火災防止のため、日常的なお手入れを欠かさず行ってください。

- ◆目に触れる部分の清掃(毎日)

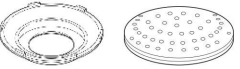
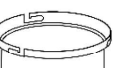
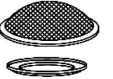
焼き網、化粧リング、水槽、中丸等は、お客様から見える箇所です。

汚れがあると不快感や不潔感を与えるため、1 日 1 回以上の清掃を徹底してください。

＊お手入れの頻度はあくまでも目安です。

ご使用環境や汚れ具合に応じて、適切なタイミングで実施してください。

各器具のお手入れ方法

◆化粧リング	化粧リングは、一番目立つ所です。	
◆吸引リング	一回転ごとに、布で汚れを拭きとってください。	
◆受け台、光熱板	一日一度、中性洗剤を含ませたスポンジで洗ったあと、布で水分を拭き取ってください。	
◆火山石受網(NC-22)	一日一度、中性洗剤を含ませたスポンジで洗ってください。	
	【ご注意】 火山石は洗わないでください。	
◆水槽	一日一度、中性洗剤を含ませたスポンジで、しっかり洗ってください。	
◆中丸	一日一度、中性洗剤を含ませたスポンジで、しっかり洗ってください。	
◆外丸	一日一度、水を含んだスポンジで拭いてから、濡れた布で拭き取ってください。	
◆バーナーヘッド	一日一度、ワイヤーブラシで炎口を清掃してください。	
◆バーナー混合管	一週間に一回、ワイヤーブラシで清掃してください。	
	定期的に、プラスチックハンマー等で数回叩いて、中の汚れを落としてください。	
◆ジェミスターフィルター オイルパン	定期的に油汚れを清掃してください。フィルターは洗剤を入れたお湯に浸け置きしてから洗ってください。	

- 【ご注意】

水槽および中丸に入っている注入水は、器具を傾けるとこぼれる恐れがあるます。使用後の汚れた水がこぼれると掃除が大変になります。使用後は、温度が十分下がってからバケツ等を用いてその場で回収していただくことをお勧めします。

ダクトのクリーニングについて

長年使用しますとダクト内部に油や焼き物のカス等が溜まります。煙の吸い込み不調やダクト内火災の原因になりますので、定期的な点検とクリーニングを実施してください。

ダクトクリーニングのご相談は、当社にお問い合わせください。

4

9

4. 水槽と中丸の水補給

点火前に水槽と中丸に「十分な水」が入っていることと、「汚れが無い」ことを確認してください。

水槽と中丸の水がなくなると、機器の異常・過熱の原因となります。

こまめに水量の確認と補給をしてください。水槽と中丸の水は煙や臭いの抑制にも効果があります。

5. 水槽の取り出し方法

必ずコンロホルダーを使用し図のように水槽の切欠き部(3ヶ所)にコンロホルダーのツメ部をはめ込んで右方向に回して確実にセットされたことを確認してから持ち上げて取り出してください。

ご使用中は非常に高温になっています。

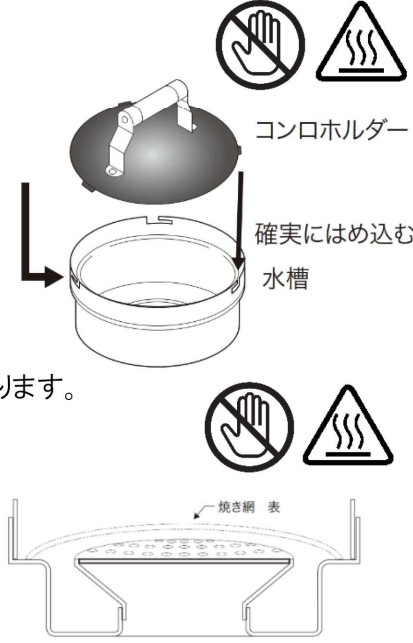
【ご注意】
持ち上げてからネジリ回さないでください。(脱落の恐れがあります。)
水が入ったままの移動はしないでください。こぼれて汚れる原因となります。

6. 焼き網のセッ

ご使用中は非常に高温になっています。

使用後も高温状態となっていますので、素手で触らないでください。

取り出し交換には専用のホルダーを使用して、網の溝に確実に差し込んでからゆっくり持ち上げてください。落下に十分ご注意ください。



日常の点検とお手入れ

点検・お手入れの際のご注意

- 必ずガスの元栓を閉め・ロースターの電源を切ってから作業を行ってください。
ロースターの“電源プラグ”を抜くか、“ブレーカ”のスイッチを切りにしてください。
通電状態で機器に触ると感電の危険があります。
- 排気ファンを止めてから作業を行ってください。雑巾や紙などがダクトに吸込まれると、故障の原因になります。
- 器具が十分に冷えてから作業を行ってください。火傷の原因になります。
- お手入れの際には怪我防止および手の保護のため、必ず手袋をつけてから作業を行うようにしてください。
- お客様に不快感を与えないよう、汚れは速やかにお手入れしましょう。

点検作業

- ◆ ガス管の確認
 - ・ガス用ゴム管にひび割れや、接続部にゆるみがないことを確認してください。
 - ・ゴム管は長期使用で劣化します。安全のため、早めの交換を推奨します。
- ◆ ガス管の取付状態
 - ・ゴム管は赤い線まで確実に差し込み、ガス管止め具でしっかり固定されていることを確認してください。
- ◆ 電源の確認
 - ・電源プラグがコンセントに確実に接続され、汚れや損傷がないことを確認してください。
 - ・点検時に電源プラグを抜いた際には、プラグおよびコンセント側を乾いた布でよく拭いてください。
ほこりや湿気を取り除くことで、トラッキング火災の防止につながります。
- ◆ 「各部の構造と名称」を参照して各器具が正しく取り付けられていることを確認してください。

注意

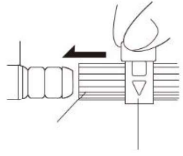


○お客様がお帰りになったら器具栓つまみが「止」の位置に戻っていることをなっているか確認してください。



火災注意

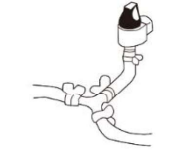
○ガス用ゴム管は、赤線まで確実に差し込み、ガス用ゴム管止めでしっかり固定してください。ガス用ゴム管が抜けたり、抜けかけたりすると、ガス中毒やガス爆発の原因になります。



○ガス用ゴム管は古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となることがあります。定期的に点検し、劣化が見られる場合は新しいガス用ゴム管に交換してください。



○ガス用ゴム管の継ぎ足しや二又分岐は行わないでください。
ガス漏れや誤使用につながり、非常に危険です。



●ご使用上の注意

○水槽の取り扱い

- ・水槽には水以外のものを入れないでください。機器の損傷や火災の原因となります。
- ・長時間使用する場合は、水槽の水がなくなる前に必ず補充してください。水切れの状態で使用すると防火ダンパーが動作し、吸煙が停止して火災の原因となります。
- ・水槽内に油・焼きカス等が溜まったまま使用すると、水槽内に着火する恐れがあります。油や焼きカスが溜まったら、その都度新しい水に入れ替えてください。

○使用目的について

- ・調理以外の用途には使用しないでください。加熱・燃焼異常による焼損や火災の原因になります。

○加熱異常や不完全燃焼を招く使用禁止事項

- 以下の使用は行わないでください
 - ・専用の焼き網以外の焼き網や鉄板は使用しない
 - ・鋳物網をアルミ箔等で覆わない

○バーナー周辺の環境

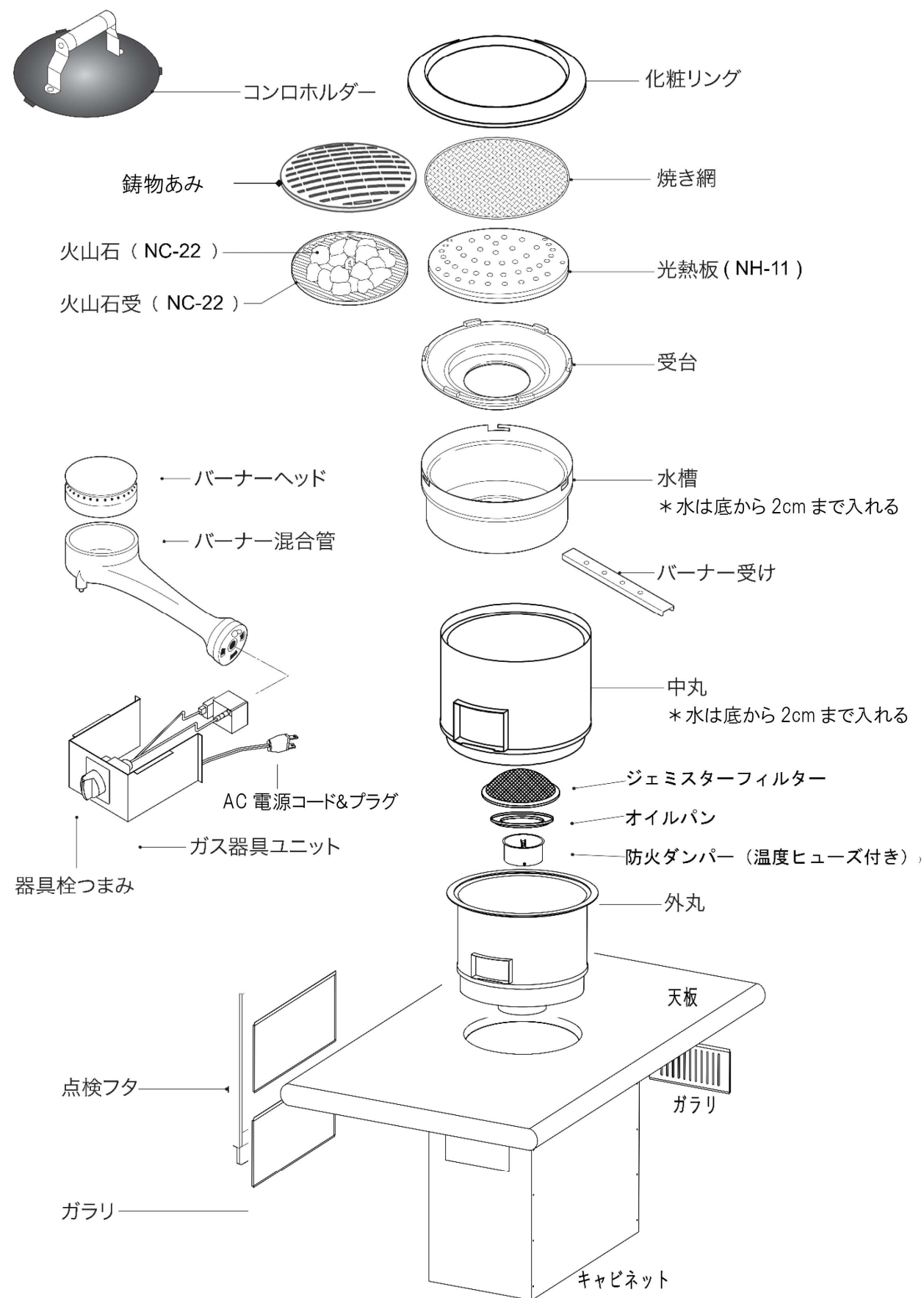
- バーナーにエアコン等の風が直接当たらないよう、風向きを調整してください。
直接風が当たると、熱が天板下にこもり火災の原因となります。

○防火ダンパーについて

- 防火ダンパーは吸煙温度が異常に上昇した際、温度ヒューズが溶断し、ダンパーが閉じて吸煙を停止する安全装置です。ダンパーが動作した場合は以下の点検を実施してください。
 - (1) ガスを止める
 - (2) 異常の有無を点検する
 - 水槽の水切れや汚れ、グリスフィルターおよびユニット本体の汚れ、焼き網等の汚れなど
 - (3) 点検の結果、異常が無い場合
 - 予備の温度ヒューズを防火ダンパーに取り付けてください。
 - * 異常がある場合は、使用を中止して販売店にご相談ください。

各部の構造と名称

【全体図】



ご使用前の準備と確認

NC-22 型、NH-11 型は下引きタイプの無煙式ロースターです。排気ファンの電源が入っていることを確認してください。また、十分な吸気がされていることも確認してください。吸気量が不足すると煙の上がる原因となります。

機器の点火操作をする前に次のことを行ってください。

1. 各器具の確認

各部の構造と名称を参照し、各器具が正しく取り付けられていることを確認してください。

2. 水槽と中丸に水を入れてください。水の入れすぎや器具を傾けるとこぼれる場合があります。

3. ガス元栓を開く

4. NC-22 型は火山石を火山石受網の上に平らにのせてください。

NH-11 型は光熱板を受台の上にのせてください。

【ご注意】

・当社指定の器具以外は使用しないでください。

・水は器具をセットした後に、注ぎ口の長いポット等を使用して入れてください。(底から 2cm を目安)

・バーナーに水がかかると炎孔部に水が入り、点火しても着火せず生ガスが出て危険です。

・バーナーに水がかかってしまったときは、乾いた布切れ等で水気を拭き取り、乾燥させてから点火してください。

ご使用方法

操作のしかた

1. 点火

器具栓つまみを押しながら左(点火の方向)に回して点火してください。

バーナーへ火移りしたことを確かめてから手を離してください。

一度で点火しない時は器具栓つまみを「止」の位置へ戻し、しばらく間をおいてから同じ方法で点火を繰り返してください。

2. 火力調整

器具栓つまみを「点火」の方向いっぱいに戻した所が「強火」で、「止」に行くに従って火力が弱くなります。

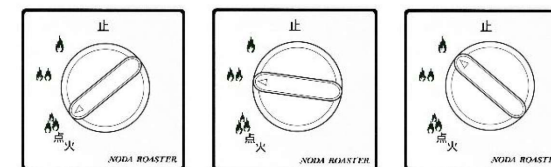
3段切替式になっていますので、

最初は強火は焼網を温め、

肉を焼くときは中火以下でお使いください。

料理の焼き具合に応じて火力調節をしてください。

「強火」「中火」「弱火」のマークの所では「カチッ」と音とクリック感があります。



3. 消火

器具栓つまみを右いっぱい「止」の位置まで確実に回して消火してください。

完全に「止」の位置まで回さないと、ガスが漏れて危険です。

消火時に「ボン」という音がする場合がありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。

